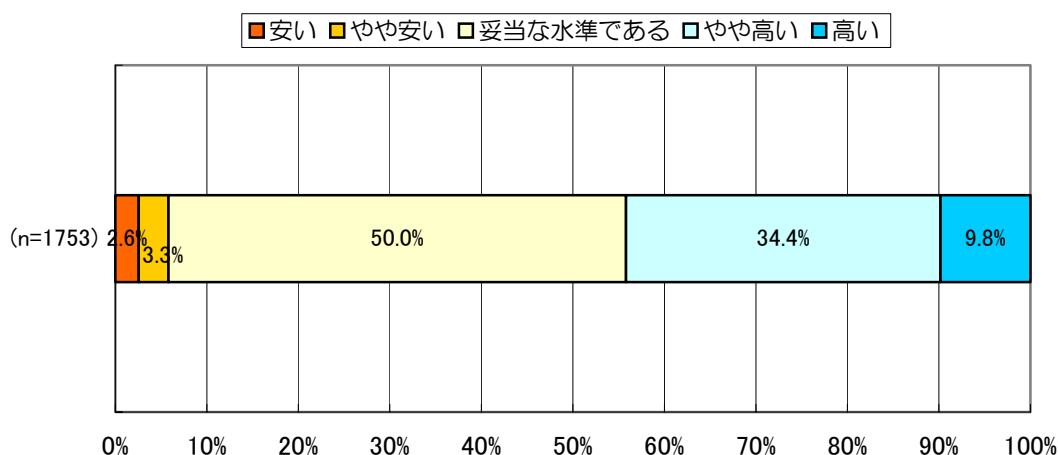
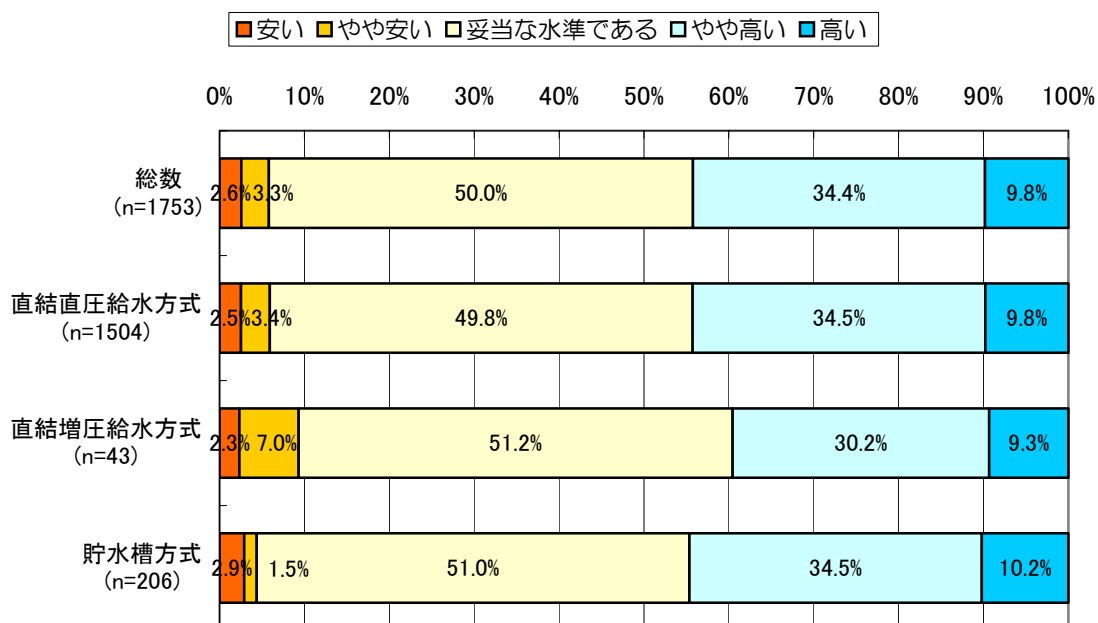




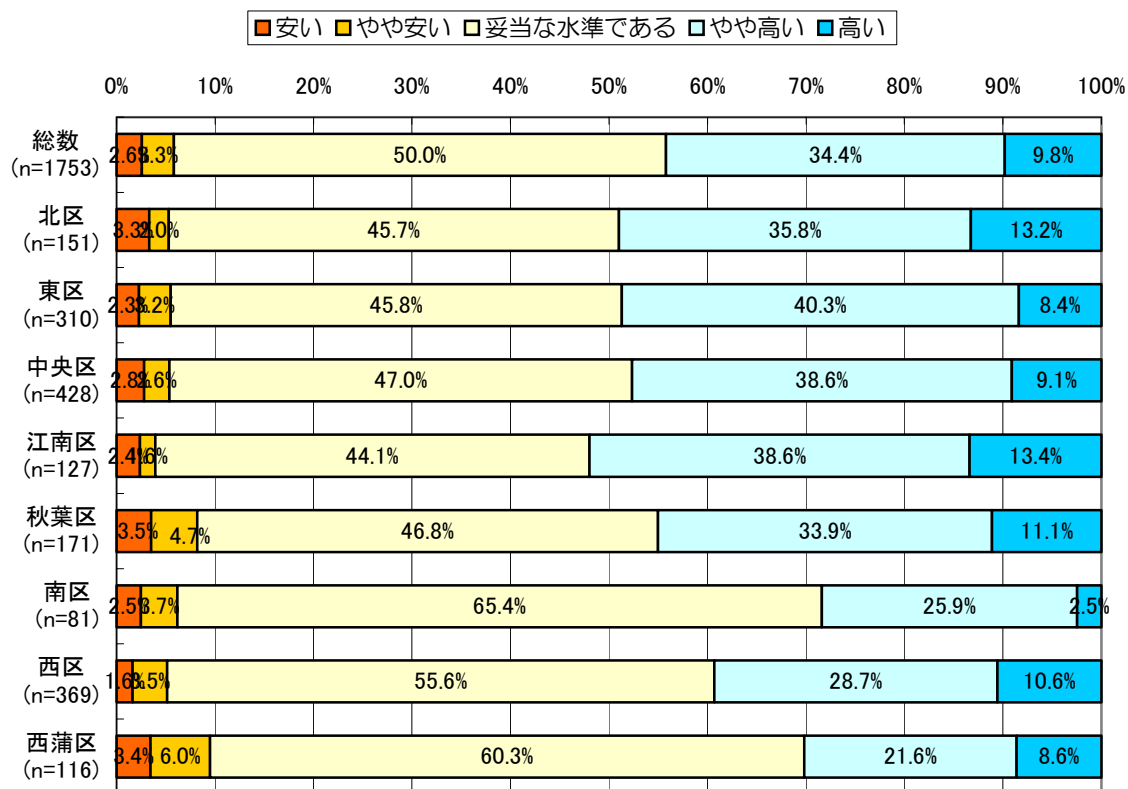
(1) 水道料金水準に対する評価



水道料金について「妥当な水準である」と回答した人はほぼ半数の50%であった。また、「安い」「やや安い」と回答した人は5.9%で、逆に「やや高い」「高い」と答えた人は44.2%であった。

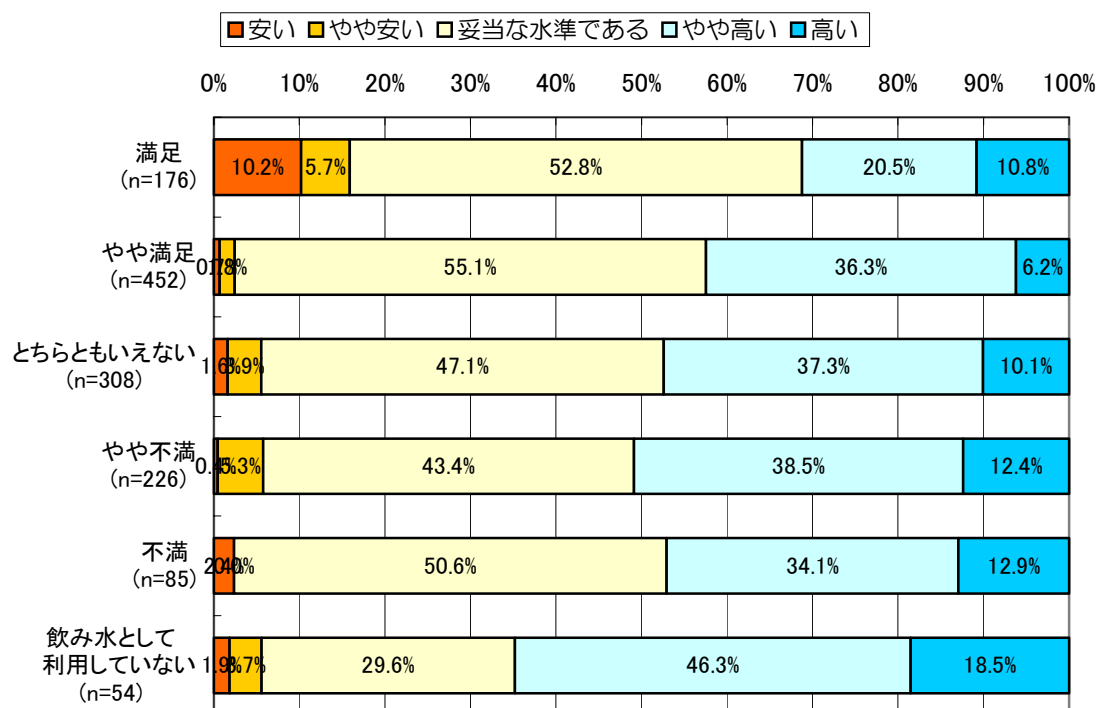


給水方式別では、傾向に大きな違いは見られないものの、直結増圧給水方式を利用している回答者の中で『安い』『やや安い』と答えている人の割合が9.3%と、他の方式と比べてやや高くなっている。



居住区別にみると、『安い』『やや安い』と答えた人の割合は、西蒲区で最も高く9.4%、逆に『高い』『やや高い』と答えた人の割合は、江南区の5.2%で最も高い。亀田地区や横越地区では合併前の旧新潟市より料金水準が低い傾向にあったため、また西蒲区内の地区では旧新潟市より料金水準が高い傾向にあったため、このような結果が出たものと考えられる。

(2) 水道料金水準に対する評価と飲み水としての水質の満足度との関係

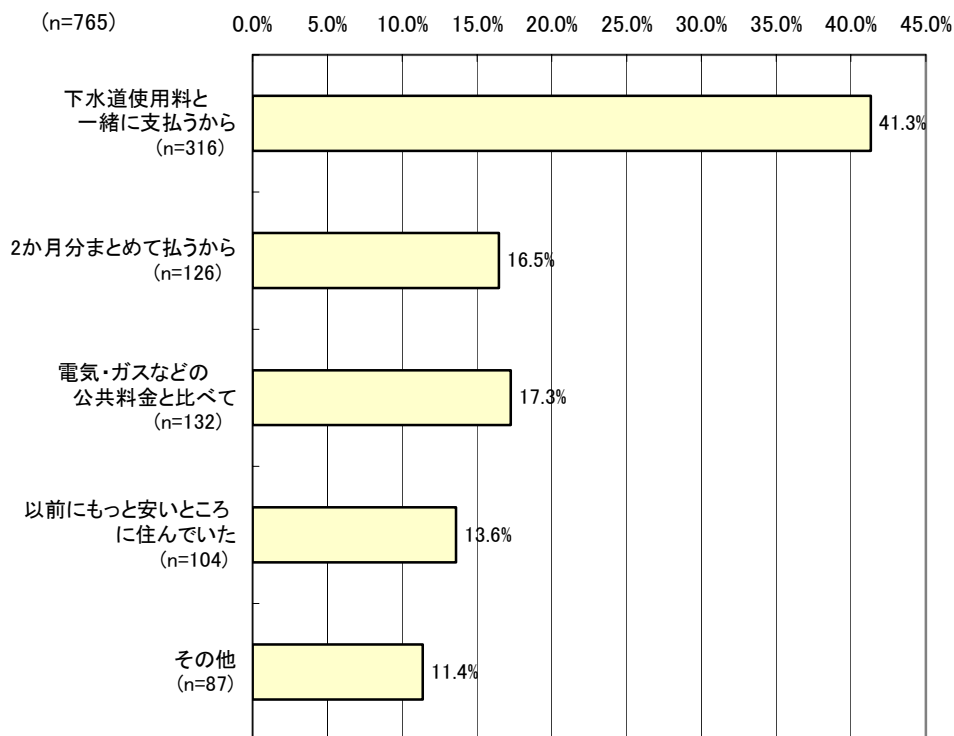


問1で質問した飲み水としての水質に対する満足度とサービスの対価である水道料金水準に対する評価をクロス集計して、関係性を表したものである。

飲み水としての水質に満足している人の中で、『高い』『やや高い』と答える人の割合は31.3%であるのに対し、飲み水としての水質に不満がある人の中で、『高い』『やや高い』と答える人の割合は47%であり、飲み水としての水質に不満を感じるほど、水道料金の水準を高く感じる傾向が表れている。

なお、水道を「飲み水として利用していない」と答えた人の中で、『高い』『やや高い』と答える人の割合は64.8%となっており、飲用しない人にとっては割高感があるものと考えられる。

### (3) 高い（やや高い）と考える理由



高い（やや高い）と考える理由は、『下水道料金と一緒に払うから』という回答がもっとも高く41.3%を占めた。ついで『電気・ガスなどの公共料金と比べて』の17.3%、『2か月分まとめて払うから』の16.5%、『以前にもっと安いところに住んでいたから』の13.6%となった。

その他として、『合併により高くなった』（4件）、『経営努力が足りない』（3件）、『近くの市町村と比較して』（2件）などの意見がみられた。